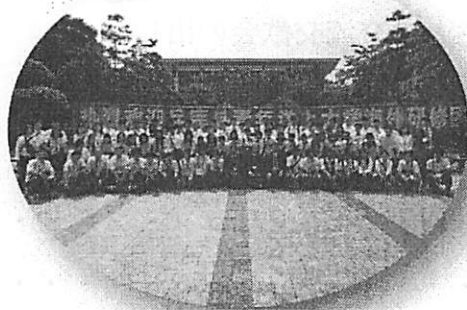


~この旅から、新しい未来を拓く~

2013 兵庫県青年洋上大学

# 海外養成塾事前研修会

- 1 期日：平成25年8月3日（土）～4日（日）
- 2 場所：兵庫県自治研修所



公益財団法人兵庫県青少年本部

## 目 次

1	事前研修会 日程表	p 1
2	実施要綱	p 3
3	海外養成塾について（目的・意義）	p 5
4	訪問・視察先でのねらいと課題対応	p 6
5	〃 の概要	p 8
6	海外研修 行程表	p12
7	学生役割分担表	p18
8	スタッフ役割分担表	p19
9	組織図（体制）	p20
10	海外研修 参加者・団幹部・スタッフ名簿	p21
11	講義：ベトナム講座	p24
12	ワークショップ	p26
	(1) ベトナム大学生との意見交換会のテーマ	
	(2) ベトナム進出日本企業への質問	
	(3) 若手起業家への質問	
	(4) 福祉施設での交流内容	
	(5) ベトナム大学生との交流交歓会の出し物	

### 《参考》

13	ベトナムでの宿泊施設	p29
14	今後の予定	p31
15	ポロシャツのワンポイントデザイン募集	p33
16	事前研修会における注意事項について	p34
17	兵庫県自治研修所 会場案内図・概要	p35
18	緊急連絡先一覧	p38

<歌・ふるさと兵庫>

## 事前研修会 日程表

8月3日(土)	内容とねらい	場所	8月4日(日)	内容とねらい	場所
10:00	受付開始	玄関	6:30	起床	宿泊棟
			7:00	朝のつどい *雨天中止	広場
			7:30	朝食(班別) / 清掃	宿泊棟
			8:15	研修棟へ移動	
			8:30	ベトナム講座 講師: 青年海外協力隊経験者 兼田 奈津子 氏	
			10:15	休憩	
10:30	開会 団長あいさつ スタッフ紹介・オリエンテーション	講堂	10:30	ワークショップ  ・学生代表、副代表の発表 ・大学生との意見交換会のテーマ検討(班別) ・ベトナム進出日本企業への質問検討(班別) ・起業家への質問検討(班別)	講堂
10:50	学長あいさつ 海外養成塾 概要説明				
11:15	ショートワーク  ・国際理解、異文化理解 ・平和学習 ・福祉施設とボランティア				
12:00	昼食・休憩	食堂	12:00	昼食・休憩	食堂
13:00	ワークショップ 講師: (一社)兵庫県子ども会連合会 事務局長 浅見真一 氏  ・アイスブレイク(*1) ・お話(*2, 4) ・グループワーク(*3) ・ふりかえり	講堂	13:00	ワークショップ  ・福祉施設での交流内容検討(班別) ・大学生との交流交歓会の出し物等について 検討・練習(交流係)	講堂
			15:00	兵庫県洋上大学同窓会より	
			15:10	旅行社による渡航手続き説明 トップツアー神戸支店	
			15:40	事務連絡	
			15:50	閉会 事務局長あいさつ	
			16:00	閉会	
17:15	事務連絡				
17:20	宿泊棟へ移動	宿泊棟			
17:30	食事/入浴(各1時間ずつ)(班別)				
19:30	ワークショップ 講師: (一社)兵庫県子ども会連合会 事務局長 浅見真一 氏  ・グループワーク(*5) ・役割分担(班長、副班長兼保健・生活係、 記録係、報告係、写真係、交流会係)	講堂			
21:15	事務連絡・係別会議				
21:30	自主活動	講堂 食堂 宿泊棟			
22:30	消灯・就寝				

- \*1 「素敵な海外養成塾に向けてよろしくお願いします！」  
 \*2 「素敵な海外養成塾のメカニズムを理解しよう！」  
 \*3 「いきいきしたグループ活動を考えてみよう！」  
 \*4 「いきいきしたグループをつくるために！」  
 \*5 「素敵な海外養成塾に向けて思いを共有しよう！」

## 平成 25 年度兵庫県青年洋上大学海外養成塾実施要綱

### 1 目的・意義

次代を担う青年が、本県との友好関係がある国を訪問し、現地青年との交流をはじめとする多様な体験活動を通して、

- ① 社会の担い手として意識の高い国際性豊かな人材の育成
- ② 参加青年相互及びベトナム青年との絆やネットワークの形成
- ③ 事業の実践活動（社会貢献活動等）に対する参加意欲の醸成

などを図ることにより、国際的視野を身につけ、地域・職域・団体の中核となって地域社会に貢献する青年リーダーを育成する。

2 企 画 公益財団法人兵庫県青少年本部（以下「青少年本部」という。）

3 旅行取扱 トップツアー株式会社神戸支店

4 期 間 平成 25 年 9 月 11 日（水）～9 月 16 日（月）（6 日間）

5 訪 問 地 ベトナム社会主義共和国（ハノイ・ホーチミン）

6 日 程 別紙のとおり

7 渡航手段 航空機（関西国際空港発）

### 8 運営組織

- (1) 事業の円滑な運営を図るため、学長、事務局長、スタッフを置く。
- (2) 学長は青少年本部理事長をもって充てる。
- (3) 事務局長は青少年本部活動支援部長をもって充てる。

9 参 加 者 学生 80 名

### 10 参加者の応募資格

(1) 兵庫県青年洋上大学海外養成塾事業に応募する者は、次の各条件を満たす者でなければならない。

- ① 原則として、平成 25 年 4 月 1 日現在に兵庫県に在住又は在職・在学する概ね 20 歳から 35 歳までの青年であり、現に青少年活動を行い又は今後行おうとする者（国籍不問）
- ② 事業の趣旨・目的を理解し、全ての研修日程に参加可能で、団体生活及び現地での生活に適応できる者
- ③ 事業終了後、その経験を生かし積極的に青少年活動などの事後活動に参加する意欲を有する者
- ④ 訪問国への渡航手続きが完了できる者

(2) 前項に定める者のほか、学長が特に認める者

## 11 参加者の決定について

応募のあった者のうち、兵庫県青年洋上大学海外養成塾の参加者（以下「学生」という。）として適当と認める者に対し、学長がこれを決定する。

12 参加費 81,000円（事前、事後研修会費は別途必要）

## 13 経費

所要経費は、学生参加費、兵庫県の補助金等をもって充てる。

上記のほか、学生は事前・事後研修会費等を負担する。

## 14 研修

### (1) 事前研修会

日時 平成25年8月3日（土）～4日（日）（1泊2日）

場所 兵庫県自治研修所（神戸市垂水区塩屋町5-3-1）

内容 事業概要、ベトナム理解、現地での活動等の準備、グループ別の仲間づくりと交流等

### (2) 訪問地研修

内容 大学訪問による現地青年との交流・交歓、福祉施設での視察及び社会貢献活動  
企業視察、歴史的文化遺産等の視察

### (3) 事後研修会

日時 平成25年10月19日（土）～20日（日）（1泊2日）

場所 兵庫県自治研修所（神戸市垂水区塩屋町5-3-1）

内容 訪問地研修での振り返り、今後の事後活動についての意義づけ

## 15 学生の取消

(1) 学生として決定された後、下記のいずれかに該当する場合は、出発の前後を問わず青少年本部は、決定を取り消すことができる。

- ① 事前研修等において、団体生活に適応することが困難であると認めた場合
- ② 渡航手続きが完了できない場合
- ③ 学生として不相当と認められる事由が生じた場合

(2) 出国後、決定を取り消された場合は、直ちに帰国させるものとし、個人的な理由で帰国する必要が生じた場合も含め、帰国に要する費用は、本人の負担とする。

## 16 その他

(1) 災害等の補償については、搭乗者を対象に、青少年本部において最高1,000万円、取り扱い旅行業者において最高2,500万円、合計最高3,500万円の死亡・後遺障害のみを対象とした海外旅行傷害保険に加入するものとする。

(2) 旅券申請書の個人的手続きについては、各人が行うものとする。

附則 この要綱は、平成25年4月15日から施行する。

# 海外養成塾 について

## 1 目的・意義

次代を担う青年が、外交関係樹立 40 周年を迎えるベトナムを訪問し、次のとおり現地青年との交流をはじめとする多様な体験活動を通して、国際的視野を身につけ、地域・職域・団体の中核となって地域社会に貢献する青年リーダーを育成する。

- (1) 社会の担い手として意識の高い国際性豊かな人材の育成
- (2) 参加青年相互及びベトナム青年との絆やネットワークの形成
- (3) 事業の実践活動（社会貢献活動等）に対する参加意欲の醸成

## 2 具体的な内容

### (1) 社会の担い手として意識の高い国際性豊かな人材の育成

- 現地の日系大手企業を訪問して、ベトナムの経済事情及びベトナムでの経済活動、労働事情等の説明を聞き、経済発展を続けるベトナムを学ぶ。
- ベトナム国家大学ハノイ校を訪問し、学生との意見交換や市内散策を通じ異文化の理解、多様な価値観を理解することで、国際感覚の醸成を図る。
- ベトナムで起業した日本人青年の講演を聴くことで、国際感覚の醸成を図る。
- 世界遺産であるハロン湾の訪問による自然学習、ベトナム戦争時の開放戦線の拠点となったクチの地下トンネルやベトナム戦争の歴史を生々しく伝える「戦争証跡博物館」での平和学習により、国際感覚の醸成を図る。

### (2) 参加青年相互及びベトナム青年との絆やネットワークの形成

- 事前研修（1泊2日）、本研修（5泊6日）、事後研修（1泊2日）をとおして、班別・係別役割のグループワーク等を実施し、組織のなかでの役割分担や課題解決に取り組む。
- ベトナム国家大学の学生との交流交歓会をとおし、ベトナム青年とのネットワークを形成する。
- 過去の参加青年も含めた同窓会組織により、事後活動を支援する。

### (3) 事業の実践活動（社会貢献活動等）に対する参加意欲の醸成

- ベトナムの福祉施設を訪問し、ベトナム福祉事情の学習や施設内見学、子どもとの交流、ボランティア活動を通じて、社会貢献活動に対する参加意欲の醸成を図る。

## 訪問・視察先でのねらいと課題対応

### 1 企業訪問

#### (1) ねらい

国際的視野を養うとともに、企業進出と CSR(社会貢献活動)を考える

#### (2) 課題対応 (事前学習、事前研修)

- ① 日系企業とベトナム企業の違い
- ② ベトナムに進出している理由、実態を調べる
- ③ CSR の意義及び内容を調べる
- ④ 日系企業に対するベトナム人の感情等

### 2 大学訪問

#### (1) ねらい

ベトナム青年との絆やネットワークづくり、明日を担う人材としての意識の醸成。

#### (2) 課題対応 (事前学習、事前研修)

- ① 班別にテーマを決め、テーマに関する調査、学習をする。
- ② ベトナムの民族・文化について調べておく。
- ③ 日本の民族・文化についても調べておく。
- ④ 交歓交流会での出し物の内容を決め、練習をする。

### 3 福祉施設訪問

#### (1) ねらい

福祉の意義を理解し、社会貢献活動 (ボランティア) に対する参加意欲を醸成する。

#### (2) 課題対応 (事前学習、事前研修)

- ① ベトナム戦争後の社会情勢、ストリートチルドレンがおかれている現状を学ぶ。
- ② ボランティアの心構えについて学習する。
- ③ グループ別に、ボランティア活動内容を決める。

#### 4 起業家の講演

##### (1)ねらい

グローバルな生き方に触れ、国際的な視野を養う

##### (3) 課題対応 (事前学習、事前研修)

- ・自己の生き方 (現状、課題、目標、社会貢献) について振り返る。

#### 5 視察先

##### 1 世界遺産 (タンロン城遺跡、ハロン湾) 視察

##### (1)ねらい

- ① 文化遺産、自然遺産の意義・歴史的背景・保全を考える。

##### (2) 課題対応 (事前学習、事前研修)

- ① タンロン城の魅力、ハロン湾の魅力、歴史的背景、保全等について調べる
- ② 日本の世界遺産 (文化遺産、自然遺産) について考える。

##### 2 クチ地下トンネル・戦争証跡博物館視察

##### (1)ねらい

歴史について知り、平和の重要性と国際的視野を養う。

##### (2)課題対応 (事前学習、事前研修)

- ① ベトナム戦争、クチ地下トンネルについて調べる。
- ② ベトナム戦争時の日本の関わり方についても調べる。

##### 3 ベトナム民俗学博物館視察

##### (1)ねらい

ベトナム文化と日本文化の違いについて学ぶ

##### (2) 課題対応 (事前学習、事前研修)

- ① ベトナムの風土、民族、生活習慣について調べる。
- ② 日本の風土、民族、生活習慣との違いについて調べる。



## 訪問・視察先の概要

### 1 企業訪問（キャノンベトナム）

2001年設立、インクジェットプリンター、レーザープリンターなどの生産拠点、

理念：社員に優しい環境づくり

従業員 11,000 人（うちに日本人 40 人）ハノイ市タンロン工業団地の中では最大の敷地面積 20ha を持つ

社長 相馬克良 人事・総務部長 谷口啓介

<参考：キャノンベトナム>

(1) ハノイ近郊の工業団地に3つの工場をもち、プリンターの生産を行っている。

2008年現在では、全社3割の生産を行い、ベトナム最大の輸出企業(12億ドル)。

<沿革>

① 2001年ハノイ郊外に住友商事とベトナムの国営企業が、合併で開発したタンロン工業団地にモノクロインクジェットプリンター工場を建設、操業 2004年、第1工場に隣接した敷地にカラーインクジェットプリンター工場を建設、操業。

② 2006年、ハノイ近郊のバクニン省のクエボー工業団地に世界最大規模のレーザープリンタ工場を建設、操業。

③ 2008年、クエボー工場第2棟を建設、操業。

(2) キャノンベトナムは、2007年から「キャノン友好学校」プロジェクトを展開し、北部山岳地帯に学校を建設、教育の発展に貢献、また、2009年から台風、洪水など自然災害を軽減することを目的として、社会貢献活動「for green Vietnam(グリーンベトナム)」を推進している。

### 2 ハノイ国家大学外国語大学 東洋言語文化学部

<ハノイ国家大学>

(1) ベトナム政府の直轄機関。(直轄は他にホーチミン市国家大学のみ)

(2) 組織：6大学(外国語大学、自然科学大学、人文社会科学大学、科学技術大学、経済大学、教育大学)のほかに、直属学部、附属研究機関・センター、図書館等 計43

<外国語大学> (一般の大学と同じレベルの大学)

(1) 組織：9学部、1大学院研究科、3直属部門、その他：国際教育センター

(2) 職員 796名(そのうち、教授、準教授、講師が547名)

(3) 学生数 14,420人(正規、5,000人)

<東洋言語文化学部>

(1)組織：学部長（ゴ・ミン・トウイ準教授）、副学部長 2、  
スタッフ講師 45 人

① 日本語部門、②通訳・翻訳部門、③日本語学部門、④日本語教授  
法部門、⑤アラビア言語・文化部門

(2)日本語学生数 1,372 名

- ・日本学専攻 4 年制学生数 504 名（うち女性 9 割）
- ・附属外国語英才高等学校生徒数 317 名
- ・その他 英語学部の学生、  
社会人向け（夜間等）の日本語教育 550 名

(3)講師 ベトナム人の日本語講師 38 名、日本人の日本語講師 3 名

### 3 福祉施設（ストリートチルドレン＝児童訓練教育センター）

(1)施設の目的：ストリートチルドレン等を養育すること

(2)子供の数：

離婚等で孤児になった 8 歳～15 歳の児童 200 人（女子 35 人、男子 165 人、8～12 歳 35%、13～15 歳 65%）、都市、農村の貧困格差により農村からの出稼ぎが多くなっていることが大きな原因。警察等からの補導により入所。

(3)職員数 69 人

(4)内容

- ・ 3 棟（18 部屋）の寮があり、子供の世話をしたり、小・中学校を設け、読み書きのできない子供たちに学習の場を提供している。
- ・ また、職業訓練学校があり、理容、縫製、溶接などの課程を設けたり、部活動（絵画、歌、ギター、空手等）により人間性を高めている。
- ・ また、カウンセリング部門を設け、子供たちのケアをし、家等に帰れるよう環境を整えている。
- ・ 農業ができそうな年長の子供のために、農場がある。健康管理室、図書館、大きな庭もある。

## 4 起業家の講演（安倉宏明氏）

(1) 講演者氏名 安倉宏明氏（31歳）

（アイコンニックジャパン（人材ベンチャー企業）代表取締役社長

(2) プロフィール：名古屋市出身、関西学院大学総合政策学部卒、

(3) 会社の概要

① 2008年5月、ホーチミン市で（株）アイコンニックジャパン（人材ベンチャー企業）を設立、

② 社員数：25名

③ 業務内容

- ・人材紹介サービス
- ・オンライン求人媒体 “It Works!”
- ・短期日越通訳者の紹介
- ・人事・労務コンサルティングサービス

④ その他

ベトナムだけではなく、カンボジア、インドネシアにも進出予定、go west を掲げ、途上国と日本をつなぐビジネスを展開予定。夢は全世界に支店を持つこと。

## 5 視察

### (1) タンロン城遺跡（世界文化遺産）

タロン（昇龍）はハノイの旧称、2010.8 ヌエコ世界遺産に登録（①文化的な歴史の期間が長い、②政治の中心地だった期間が長い、③多様な遺物が発掘される）

- ・18番遺跡地区（李朝、陳朝、後黎朝 11～19世紀までの王宮跡が重層）
- ・敬天殿（王宮跡、軍部として使用した秘密会議室等）などがある。

### (2) 民族学博物館

ベトナムは54民族部族からなる他民族国家で、それぞれの地域の特性や、家屋、風習などを紹介する博物館である。竹で編んだ網籠なども、部族によって形が異なり、これでどこの出身かがわかる。各部族の民俗衣装の展示や実物大の家屋の模型、天井の高い高床式の家屋模型がある。

### (3) ハロン湾遺跡（世界自然遺産）

1994年ユネスコ遺産登録：①ひときわすぐれた自然美及び美的な重要性をもつ最高の自然現象または地域を含むもの。②地球の歴史上の主要な段階を示す顕著な見本であるもの。これには生物の記録、地形の発達における重要な地学的進行過程、重要な地形的特性、自然地理的特性などが含まれる。

ハロンのハ＝降りる、ロン＝龍、という語源を持つ。北は中国の桂林から続く石灰岩の台地が長い年月のうちに沈降を繰り返し、海になった所。湾内には、南国の強い雨に削られ、奇抜な姿になった大小の島々が1600もあります。さまざまな奇岩が海に突き出した風景は桂林に似ており、「海の桂林」とも呼ばれている。

### (4) クチ地下トンネル

ベトナム戦争時代、南ベトナムの作戦本部が置かれていた「クチ」。約20年の歳月をかけて掘られた250キロにも及ぶ地下トンネルが現在も残っており、その一部を見学できる。巧妙に作られたワナや、落とし穴、爆撃の跡地、戦車などがある。

### (5) 戦争証跡博物館

ベトナム戦争は南北統一をめぐる戦争で、ベトナム国内で200万人近い人々が犠牲になった。特徴のひとつとして世界中のメディアによって報道が自由になされたことがある。多くのカメラマンやジャーナリストが真実の姿を目指してベトナムを訪れ、命がけで残した記録の一部がここに残っている。また、コンダオにあった反政府運動した人々を処刑した刑務所や拘置所、ギロチン台、政治犯がどのようにして拷問を受けたのかがリアルな模型や当時の写真で記されており、30数年前の出来事とは思えないほど残酷なベトナム戦争の記録が残された博物館。

## 海外研修 行程表

【9月11日(水)】

時間	交通機関	摘要(活動)		食事・宿泊
8:20		関西国際空港4階Hゾーン集合 ・出発式	山本団長 学生代表①	
10:30	VN-331	関西国際空港発		昼食 (機中)
13:05		ハノイ空港到着		
14:00	バス	空港出発		
14:45		「タンロン遺跡」見学		
15:45				
16:00		みやげもの屋で休憩		
16:30	バス	夕食会場へ		
17:00		「LE TONKIN」にて夕食		夕食 「LE TONKIN」 (ベトナム料理)
18:00	バス	ホテルへ		
18:20		ホテル到着 (チェックイン)		
19:00		係別ミーティング(2階バンケットルーム) 班別ミーティング(2階バンケットルーム)		
22:30		就寝		泊： ハノイホテル

【9月12日(木)】 ※ポロシャツ着用

時間	交通機関	摘要(活動)		食事・宿泊
7:30		朝食		朝食「ホテル」 (バイキング)
8:45	バス	ホテル発		
9:30		タンロン工業団地 「キャノンベトナム」企業視察 ・代表者あいさつ ・記念品贈呈 ・企業概要等説明 ・質疑応答 ・工場見学 ・お礼の言葉 ・記念写真撮影	【司会:キャノンベトナム】 相馬社長・山本団長 山本団長  学生代表②	
11:00	バス	大学へ		
11:45		「ベトナム国家大学 ハノイ校 東洋言語文化学部」訪問	【司会:ベトナム国家大学】	
12:00		・対面式 ① 代表者あいさつ ② 記念品贈呈 ③ 学生代表あいさつ ④ 記念品贈呈 ⑤ 辞書の贈呈 ⑥ 大学概要説明	(ベトナム: )大西学長 大西学長 学生代表③ 学生代表④ 学生代表⑤	昼食 (大学内)
13:30		・昼食 ・意見交換会		
14:30	バス	博物館へ出発		
15:00		・ベトナム民俗学博物館		
16:30	バス	交歓会会場へ出発		
17:00		・夕食「THE FIRST」 ① 代表者あいさつ	【司会:日野】 (ベトナム: )大西学長	夕食 「THE FIRST」 (中華料理)
17:40		・交流交歓会 ② 学生スタンプ ③ お礼の言葉 ④ 記念撮影	【司会:交流係①】  学生代表⑥	
19:00	バス	ホテルへ		
19:45		ホテル到着		
20:30		係別ミーティング(2階バンケットルーム) 班別ミーティング(2階バンケットルーム)		泊 ハノイホテル
22:30		就寝		

【9月13日(金)】

時間	交通機関	摘要(活動)	食事・宿泊
7:00		朝食	朝食「ホテル」 (バイキング)
8:00	バス	ホテル発 ハロン湾へ	
9:45 10:00		休憩	
12:00		ハロン湾到着 (トゥアンチャウ島港にて乗船手続)	昼食「船上」 (海鮮料理)
12:15		「ハロン湾」周遊 昼食は船上にて海鮮料理  *途中ティエンクン洞窟入場	
15:15	バス	ハロン湾発、夕食会場へ	
17:00 17:15		休憩	
19:15		「FOREST」にて夕食	
20:30	バス	ホテルへ	夕食 「FOREST」 (ベトナム料理)
20:45		ホテル到着	泊 ハノイホテル
21:00		係別ミーティング(2階バンケットルーム) 班別ミーティング(2階バンケットルーム)	
22:30		就寝	

【9月14日(土)】

時間	交通機関	摘要(活動)		食事・宿泊
6:00		朝食		朝食「ホテル」 (バイキング)
7:30	バス	(チェックアウト) ホテル発、ハノイ空港へ		
8:15		ハノイ空港到着		
10:00	VN-233	ハノイ空港発		
12:00		ホーチミン空港到着		
12:30	バス	昼食会場へ出発		
13:40		「BEN NAY」にて昼食		昼食 「BEN NAY」 (ベトナム料理)
14:40	バス	クチトンネルへ		
15:00		「クチトンネル」見学		
16:30	バス	ホテルへ		
17:45		ホテル到着 (チェックイン)		夕食 「NGAN DINH」 (中華料理)
18:30		ホテル5階「NGAN DINH」にて夕食		
19:30		安倉宏明氏講演会(NGAN DINH) ・講演 ・質疑応答 ・お礼の言葉	【司会:交流係②】  学生代表⑦	
20:30		講演会終了		
20:40		係別ミーティング(NGAN DINH) 班別ミーティング(NGAN DINH)		泊: ウィンザー プラザホテル
22:30		就寝		



【9月15日(日)】

時間	交通機関	摘要(活動)		食事・宿泊
6:00		朝食		朝食「ホテル」 (バイキング)
7:45	バス	(チェックアウト) ホテル発		
9:00		「ストリートチルドレンセンター」訪問  ・代表者あいさつ ・施設概要等の説明 ・記念品贈呈 ・センター子ども達の演技 ・ボランティア活動(交流) ・お礼の言葉	【司会:センター】 (通訳:現地ガイド) (センター: )山本団長  山本団長  学生代表⑧	
11:00	バス	おみやげものやへ		
11:20 12:00		休憩		
12:20 13:20		「CORDON BLUE」にて昼食		昼食 「CORDONBLUE」 (フランス料理)
13:30 14:30		「戦争証跡博物館」見学		
14:45		ドンコイ通り等班別行動		
18:00	バス	夕食会場へ		
18:30		「INDOCINE」にてお別れ夕食会  ・あいさつ  ・終わりのあいさつ	【司会:交流係③】 山本団長 学生代表⑧ 大西学長	夕食 「INDOCINE」 (ベトナム料理)
20:30 21:30		空港へ ホーチミン空港到着		機中泊



# 学生役割分担表

## 【班別役割分担】

( 班 )

係名	人数	主な役割		A・B別	氏名	
班長	1名	・ 班の統括と研修進行の補助、集合時の点呼、ミーティングの進行等 (班内のA班を担当)		A		
副班長兼保健・生活係	1名	・ 班長を補佐し、班員の健康管理と生活全般を掌握 (班内のB班を担当)		B		
記録	写真係 記録係 報告係	3名	連携して記録の役割に取り組む	・ 写真の撮影及び情報交換ツール等への掲載 ・ 課題学習レポートの作成 (班内A班に所属)	A	
				・ 研修内容の記録、情報交換ツールへの書込み ・ 課題学習レポートの作成 (班内B班に所属)	B	
				・ プレゼン用資料と報告書の作成		
交流係	福祉施設での交流担当	1名	・ 福祉施設での交流の企画・運営 ・ お別れ夕食会の司会・進行			
	大学生との交流交歓会担当	2名	・ 交流交歓会での出し物の企画・運営 ・ 起業家講演会の司会・進行			

※ 青年サポーターが入っている班の交流係・大学生との交流交歓会担当は1名。

## 【全体役割分担】

◆ 学生代表(1名) → 学生を代表・統括し、研修が円滑に進行するようスタッフと連携をとり、運営にあたる。

氏名


◆ 学生副代表(1名) → 学生代表を補佐し、研修の円滑な運営にあたる。

### ◆ あいさつ・お礼の言葉

氏名

① 9/11 出発式(関西国際空港)・あいさつ

学生代表

② 9/12 企業視察・お礼の言葉

班班長

③ 9/12 大学訪問・あいさつ

学生代表

④ 9/12 大学訪問・記念品贈呈

班班長

⑤ 9/12 大学訪問・辞書贈呈

班班長

⑥ 9/12 大学生との交流交歓会・お礼の言葉

班班長

⑦ 9/14 起業家講演会・お礼の言葉

班班長

⑧ 9/15 ストリートチルトレンセンター訪問・お礼の言葉

学生副代表

⑨ 9/15 お別れ夕食会・あいさつ

班班長

⑩ 9/16 解散式(関西国際空港)・あいさつ

学生副代表


### ◆ 司会

氏名

① 9/12 大学生との交流交歓会・司会

交流係

② 9/14 起業家講演会・司会

交流係

③ 9/15 お別れ夕食会・司会

交流係


## スタッフ役割分担表

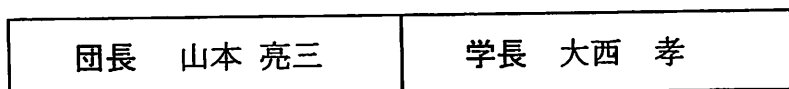
役 割	主担当
総括	田 中
総務・渉外	脇 田
研修	
① 企業訪問	日 野
② 大学(対面式、大学・博物館視察)	桂 木
③ 大学(交流会)	日 野
④ ハロン湾(バス内)	日 野
⑤ 若手起業家	日 野
⑥ ストリートチルドレン施設	桂 木
⑦ ドンコイ通り班別視察	桂 木
保健・生活	桂 木
記録・広報・報告書・プレゼン	千 田
集合・指揮・ミーティング	大 橋

係 別 等 役 割	主担当
スタッフ会議	田 中
班長(代表、副代表)	大 橋
副班長 保健・生活係	桂 木
交流係	日 野
記録(記録係・報告係・写真係)	千 田

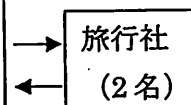
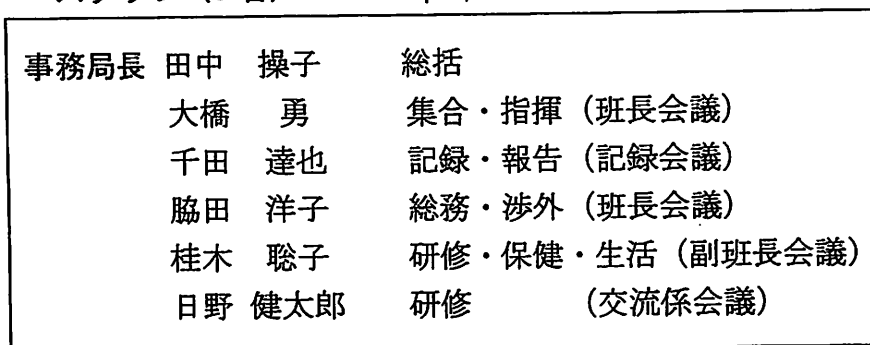
バス乗車		スタッフ		サポーター		ほか
1号車 (1・2・3班)	30名	田中	千田	(1・2班) 井上清	(3班) 北川	団長・学長 旅行社・が'ト'
2号車 (4・5・6班)	27名	脇田	日野	(4班) 関本	(5・6班) 井上隆	が'ト'
3号車 (7・8・9・10班)	36名	大橋	桂木	(7・8班) 金村	(9・10班) 寺田	旅行社 が'ト'

# 組織図 (体制)

団幹部 (2名)

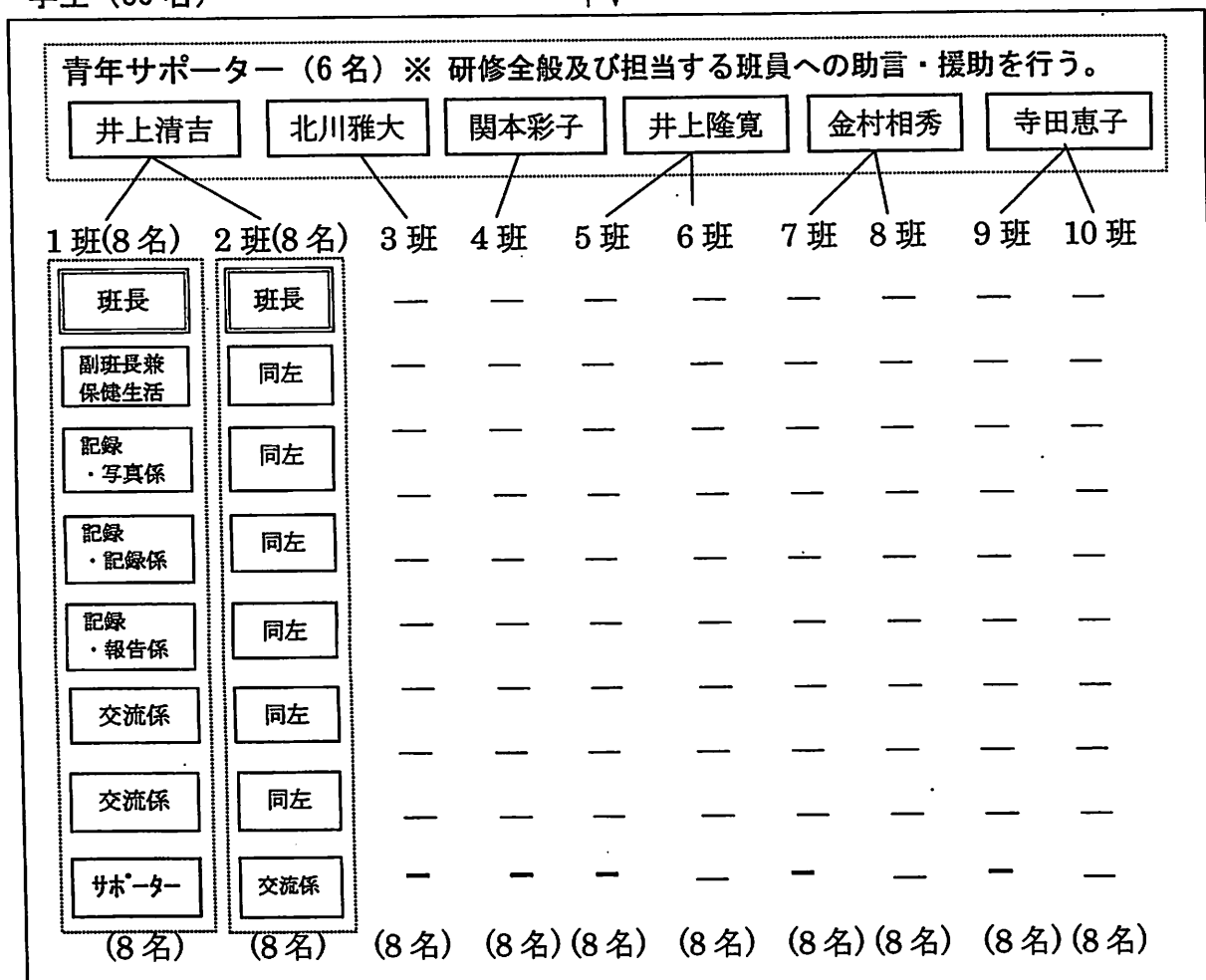


スタッフ (6名)



学生 (80名)

※ スタッフとの連絡調整 (班員点呼や連絡等) は**班長**が直接行う。



## 今後のスケジュールについて

### 1 海外研修

月 日 平成25年9月11日(水)～16日(月)  
集 合 8:20 集合完了  
          関西国際空港 4階 特別待合室『かみがた』横  
内 容 兵庫県青年洋上大学海外養成塾の本研修

### 2 事後研修会 ※ 次頁に日程案あり

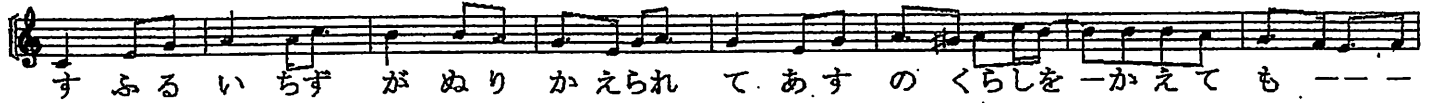
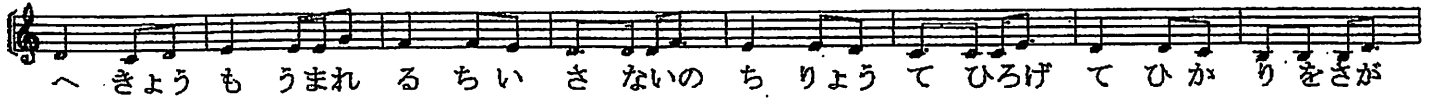
月 日 平成25年10月19日(土)～20日(日) 10:30～(予定)  
場 所 兵庫県自治研修所  
内 容 海外研修の振り返りと今後の活動に向けての抱負  
      班別プレゼンテーション(海外研修の報告)の実施 など

## 事後研修会 日程案

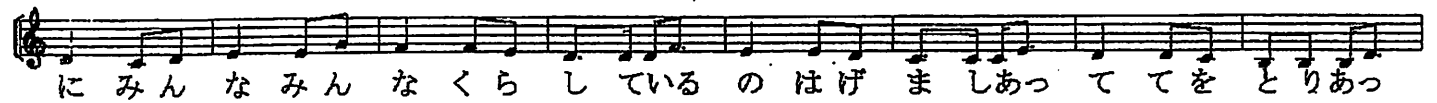
10/19 (土)	内 容	場 所	10/20 (日)	内 容	場 所
10:00	受付開始	玄関	7:00	起床	宿泊棟
10:30	開会あいさつ (事務局長)	講堂	7:30	朝のつどい	南広場
10:40	オリエンテーション		8:00	朝食/清掃・退寮チェック	宿泊棟
11:00	オープニングスライド ～私たちの海外養成塾こんなでした～		8:45	研修棟へ移動	
11:15	セッションⅠ ～私たちのグループ活動を振り返ろう～ (講師：(社)兵庫県子ども会連合会 事務局長 浅見 真一 氏)		9:00	セッションⅣ (まとめ・発表) プレゼンテーションによる報告会	講堂
	海外養成塾の班活動についてふりかえり、グループごとに学んだことを確認します。		10:50	兵庫県青年洋上大学同窓会の活動 同窓会から「自分達は、なぜ事後活動を行い、また、どのような事業をしているか」等について	
12:30	昼食・休憩	食堂	11:40	事務連絡	
13:30	セッションⅡ 全員参加型パネルディスカッション ～私たちの海外養成塾こんなでした～	講堂	11:50	閉会あいさつ	
	全員参加型の意見交換会で、今回の海外養成塾をふりかえり、学びを整理し、学生それぞれの今後の活動につなげます。 また、今後の活動のためのグループ分けを		12:00	閉会	
15:30	休憩 (適宜)		12:00	昼食・解散	食堂
15:40	セッションⅢ グループワーク ～私たちの活動のこれから！～		13:00	写真・情報交換会 (希望者)	図書室
	海外養成塾の体験をふまえて、今後の活動などについて、興味関心のあるテーマごとのグループで語り合います。				
17:00	事務連絡				
17:10	宿泊棟へ移動				
17:30	食 事	宿泊棟			
18:30	写真・情報交換会、入浴 (各1時間)	図書室 宿泊棟			
20:30	ミーティング	食堂			
23:00	消灯・就寝(時間厳守)	宿泊棟			

\* 日程は事情により、一部変更になる場合があります。

# ふるさと兵庫



間奏



ふるさと兵庫

作詞・作曲

紙ふうせん 後藤悦治郎

一、白い砂の 瀬戸の海から

深い緑の 但馬の山へ

今日も生まれる 小さな命

両手ひろげて 光をさがす

古い地図が ぬりかえられて

あすの暮らしを かえても

人の心 愛のことば

今もかわらぬ ふるさと

二、青い海を 北と南に

緑の道を 東と西に

みんな みんな 暮らしているの

はげましあつて 手をとりあつて

古い町が 姿をひそめ

人の流れを かえても

人の心 愛のことば

今もかわらぬ ふるさと

古い町が 姿をひそめ

人の流れを かえても

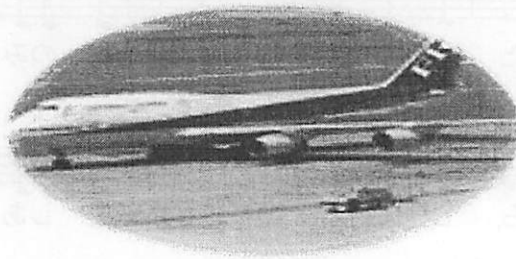
人の心 愛のことば

今もかわらぬ ふるさと

今もかわらぬ ふるさと



# 真珠のふるさと



[facebook] <https://www.facebook.com/youseijuku>

[blog] <http://yousei2013.blogspot.jp/>

(海外研修中は現地の情報をご覧になれます)

<b>班</b>		<b>番号</b>	
<b>氏名</b>			